

効率的な索引の作成

読者にとって便利な索引も、制作には多大な労力と細心の注意が必要です。

InDesignによる索引制作の工程と、効率的な原稿作成のポイント、
あわせて、当社独自の索引作成技術についてご案内します。

■索引語の登録方法

InDesignは、本文中に設定された索引語のマーカーを基に自動で索引を生成する機能を持っています。

索引語のマーカー登録には、主に二つの方法があります。一つ目は、校正紙などに手書きでマーカー指定された原稿に沿って、InDesign上で一つずつ登録していく方法です。原稿で語句と読みを確認しながら作業を進められ、精度を高く保つことができます。一方で、原稿を参照しながらの手作業となるため、索引語の数が多い書籍では作業負担が大きくなります。

また手作業であるため、データ運用にも注意が必要です。年度版などの定期刊行物では、改訂時にも索引語を再抽出できるよう、オリジナルのネイティブデータに直接索引マーカーを登録しなければなりません。この場合、登録の作業中に指定外変化が生じる可能性があるため、作業前後の紙面をデジタル検査で比較し、差違がないかどうかを必ず確認します。

二つ目は、索引語と読みをまとめたリストを入稿していただき、そのリストを元に索引マーカーを一括登録し、ノンブルを抽出する方法です。登録作業を自動化できるため、短期間での対応が可能となり、制作スケジュールが厳しい案件に適しています。しかし、自動検索によって索引語のマーキングを行うため、文脈上不要な箇所にもマーカーが入る可能性があり、最終的な確認と調整が欠かせません。

InDesignの拡張機能を使用し索引語の読みを自動で生成することもできます。専門書は難読語が多く、人の目による確認も必要ですが、当社では専門用語辞書を学習させるなどして読みの精度向上を図っています。

■効率的な索引原稿の作り方

索引制作を円滑に進めるためには、原稿を入稿するタイミングが重要です。手書きマーカー指定による索引制作の場合、三校程度まで校正が進み、本文修正が



▲医学書の索引。膨大な索引語が収録されています。

落ち着いた段階で原稿を入稿します。まだ修正が多い段階で入稿作業を行うと、後工程での手戻りが増えてきます。

原稿は校正紙に手書きでマーキングしたものほか、Acrobatの「テキストのハイライト表示」機能を使ったPDFデータで入稿しても構いません。この場合、Acrobatで索引語を検索しながらマーキングができるため、効率的に索引原稿が作成できます。

■電話帳方式による索引作成

電話帳方式とは、その名の通り電話帳に用いられている配列方法です。電話帳のほか、索引語が膨大となる学術書などにおいても多く採用されています。日本語の漢字読みの特殊性を考慮し、頭文字が同一の索引語をひとまとめにして配列するため、頭文字で絞り込んだうえで目的の語を探し出すことができます。

電話帳配列は、InDesignの標準機能では処理できません。当社では専用のアプリケーションを開発し、電話帳方式による索引制作にも対応しています。

このアプリで電話帳配列に必要な、索引語の各文字に読みを付与する「分解処理」と、その結果を基に読みの先頭から順に比較する「ソート処理」を行います。記号・数字・アルファベット・和文の優先順、濁音処理、音引きの補正、二文字目以降の並び順など、詳細なソート条件を柔軟に設定でき、親語・子語を含む複雑な索引構造にも対応可能です。

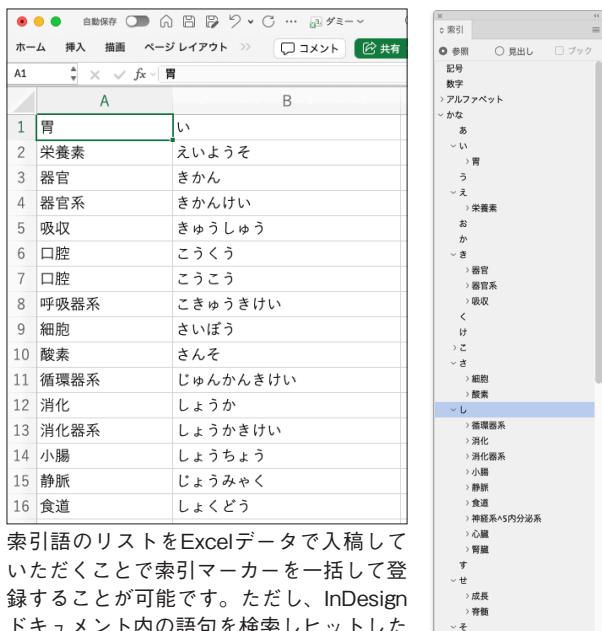
ケースA：マーカー指定を元に手動登録



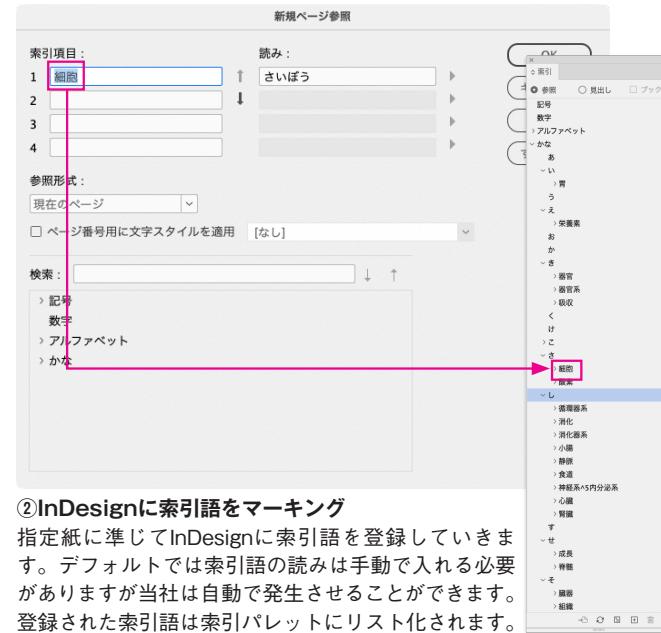
①校正紙にマーキング作業

出力紙に手書き、もしくはPDF上に「テキストのハイライト表示」機能で索引語をマーキングしていただきます。難読語には赤字で読みを記入してください。

ケースB：索引語リストから一括登録



索引語のリストをExcelデータで入稿していただくことで索引マーカーを一括して登録することができます。ただし、InDesignドキュメント内の語句を検索しヒットした箇所すべてにマーキングを行うため、抽出後に確認していただく必要があります。



②InDesignに索引語をマーキング

指定紙に準じてInDesignに索引語を登録していきます。デフォルトでは索引語の読みは手動で入れる必要がありますが当社は自動で発生させることができます。登録された索引語は索引パレットにリスト化されます。

A1		
A	B	C
1 胃	い	4
2 栄養素	えいようそ	4
3 器官	きかん	4
4 器官系	きかんけい	4
5 吸収	きゅうしゅう	4
6 口腔	こうくう	4
7 口腔	こうこう	4
8 呼吸器系	こきゅうきけい	4
9 細胞	さいぼう	4
10 酸素	さんそ	4
11 循環器系	じゅんかんきけい	4
12 消化	しょうか	4
13 消化器系	しょうかきけい	4
14 小腸	しょうちょう	4
15 静脈	じょうみやく	4
16 食道	しょくどう	4

③索引語の抽出

登録された索引語と読み、ノンブルを抽出します。出現順に抽出するか、五十音順で抽出するかを要望に応じて対応可能です。抽出したリストはExcelデータで確認していただきます。

ハイライト表示PDF

循環器系

循環器系は、心臓と血管からなり、全身に血液を送り出す役割を担っています。血液は、酸素や栄養素を全身の細胞へ運び、同時に二酸化炭素や老廃物を回収します。心臓はポンプのように拍動し、動脈・静脈・毛細血管を通じて血液循環を維持しています。循環器系の働きが低下すると、全身の臓器機能に影響を及ぼすため、看護においても観察が重要な系統です。

呼吸器系

呼吸器系は、肺を中心に構成され、酸素を体内に取り込み、二酸化炭素を体外へ排出する働きをします。呼吸によって取り込まれた酸素は血液中に取り込まれ、全身へ運ばれます。呼吸数や呼吸の深さ、呼吸音の変化は、患者の状態を把握する重要な指標となります。

消化器系

消化器系は、口腔から始まり、食道、胃、小腸、大腸などから構成されます。食物を摂取し、消化・吸収を行い、不要なものを排泄するまでの一連の流れを担っています。消化器系の働きは、栄養状態や体力の維持に直結するため、食事や排泄の援助を行う看護では特に重要です。

泌尿器系

泌尿器系は、腎臓、尿管、膀胱、尿道からなり、体内の老廃物や余分な水分を尿として排出します。体液の量や電解質バランスを調整する役割もあり、腎機能の低下は全身状態に大きな影響を与えます。尿量や尿性状の観察は、

InDesignデータ上に登録された索引マーカー部分をハイライト表示してプリントやPDFを出力することができます。索引語を抽出する前に確認していただくことも可能です。